

臨床で脈管が軟らかく、軟と判断することはありますが、柔和との線引きは難しいです。ところが、脈理と実際の臨床からみるといくらか判断できます。

それは軟らかい脈は気血不足のときに現れます。したがって按じると無力あるいは空虚な脈になっているので軟らかい脈と判断できます。一方、柔和な脈は按じて有力です。これが弁別の要点です。

6 …脈の有力・無力の基準

拍動が最も触れる位置で脈の拡張する力を、その患者さんの有力・無力の基準とします。この拡張する力が脈を按じて増すか減じるかを診るのです。

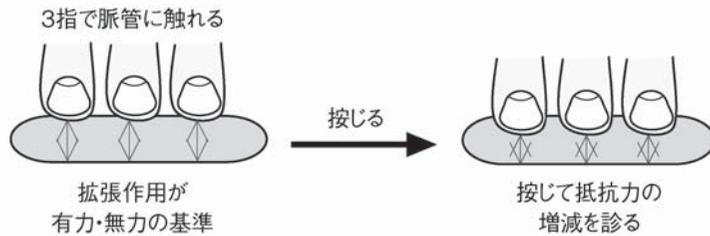


図13 有力・無力の基準

7 …脈の強さの取り方

- 手順① 拍動を最も触れる位置で脈管上に三指を載せる。
 - 手順② そのままの位置で脈管の緊張状態を観察する。
 - 手順③ 脈管を少し按じ、拡張する力が增加するかまたは減少するかを観察する。
- 以上の手順①～③で脈の緊張そして有力・無力の脈診が完了します。

8 …脈の強さを判定する

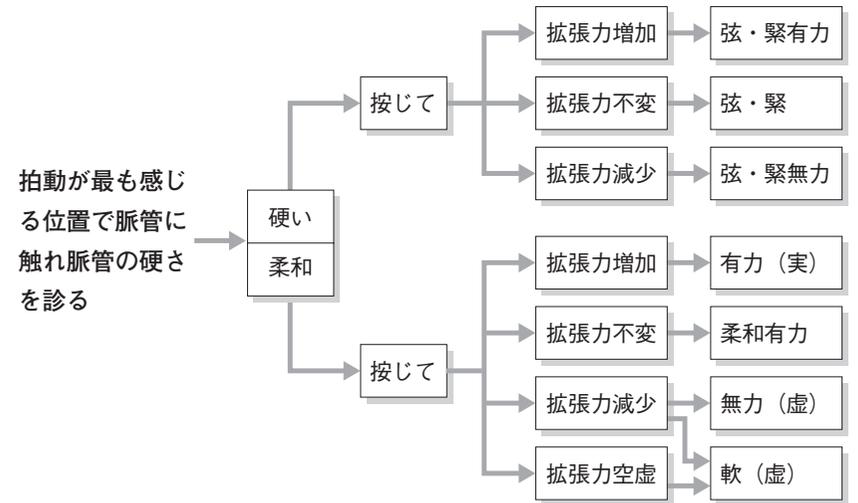


図14 脈の強さを判定する

第6節 脈の流れを決める

1 …脈の流れ

- 脈の流れというのは、2つのタイプが考えられます。その2つのタイプを図示すると以下ようになります。
- タイプ1：1回の拍動で尺部～関部～寸部と順番に指に触れる流れを示しています。
 - タイプ2：1回の拍動で一気に寸口部を駆け抜ける流れを示しています。